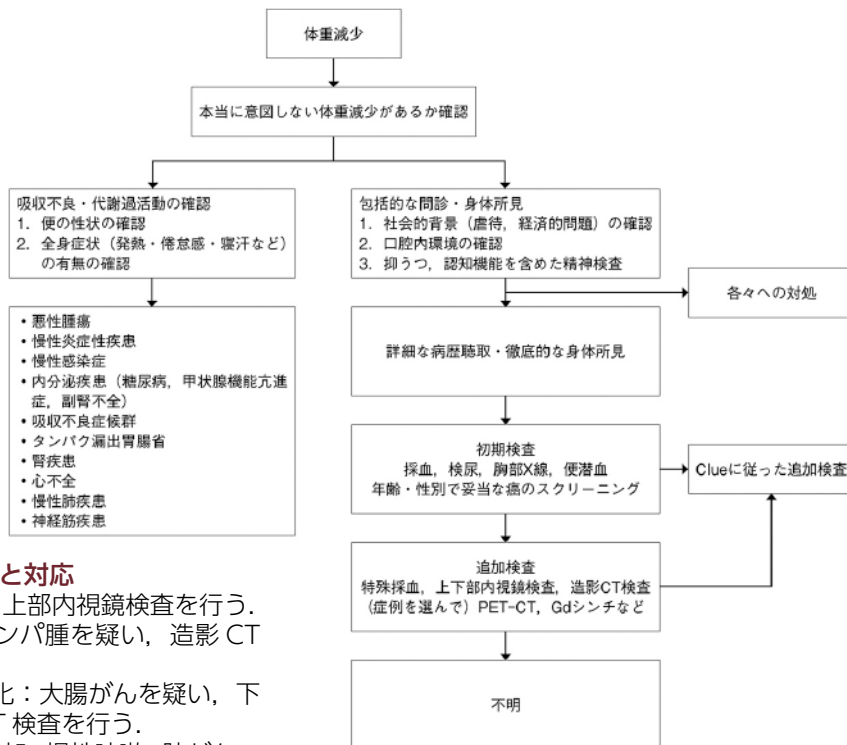


※本記事は南江堂のWEBサービス「最新の臨床WEB」のコンテンツを抜粋・編集したものです。「最新の臨床WEB」とは「患者を前になにをやるかがすぐわかる」をコンセプトとした施設向け診療支援サービスです。実際のサービスでは、文献とともに上記のコンセプトに沿った詳細な情報をご覧ください。

■診断フローチャート



■レッドフラッグサインと対応

- ・黒色便：胃がんを疑い、上部内視鏡検査を行う。
- ・リンパ節腫脹：悪性リンパ腫を疑い、造影CT検査、生検を考慮する。
- ・血便、便秘、便の狭小化：大腸がんを疑い、下部内視鏡検査・造影CT検査を行う。
- ・多喫煙者、血痰、喀痰増加、慢性咳嗽：肺がん、結核を疑い、3連痰、T-SPOT検査、胸部CT検査を行う。

■とりあえず行うべき対応

- ・バイタルのチェック
- ・腎機能、電解質のチェック
- ・脱水の有無の評価を行い、脱水があったら補正する。
- ・著明な痩のときに、refeeding syndromeに気をつけて栄養療法を開始する。

臨床雑誌 内科 購読者限定

「最新の臨床WEB」のコンテンツを無料でお試しいただけます。

<https://www.rinsho.net/login/account?trial=true>

ログインID

trial137_2@naika.jp

パスワード

TPkA5qM5

※ID/PWの有効期限は2026年2月28日まで



▶最新の臨床WEBの詳細、申し込み方法等は商品ポータルサイトをご覧ください



<https://www.nankodo.co.jp/pages/rinsho.aspx>

最新の臨床WEB

検索